

6
7



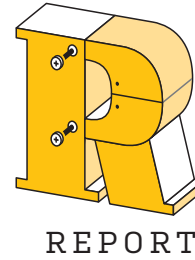
5



4

1.2.ボーイング777型機のキャビンウィンドウを風防に生かした時計。3.キャビンウィンドウの透明感を生かしたトレー。4.5.カリモク家具のギャラリー「Karimoku Commons Tokyo」での展示風景。6.ボーイング777型機の廃材のひとつ、給油口カバー。7.8.座る姿が浮遊感を感じさせるスツール。

ご紹介した商品は
JALショッピングにて
3月中に販売予定



REPORT

JALが取り組む新しい空への挑戦を皆さまにお伝えします

Embrace our
Challenge **JAL**

退役航空機のパーツをアップサイクル!

インテリアに生まれ変わる廃材

空を飛んだ、そのあとは？

お客さまを乗せ、大空を飛ぶ航空機。これまではその役目を終えると海外に運ばれ、解体されるのが常でした。約300万点に及ぶ部品の内、再利用できるパーツは新たな航空機の一部となり、再資源化できるものは素材ごと分類され、それがかなわないものは産業廃棄物となっていました。



2

JALグループは地球にやさしい退役航空機の行く先をお越しいただきました。廃材を前にした皆さまの視点や構想に、すぐくわくわくしました!と、JALエンジニアリング(JALEC)事業推進部の金森詩音と、荒町優衣は語ります。

2023年には7組のデザイナー陣による13点のアップサイクル製品が提案され、同年6月の国際見本市「インテリアライフスタイル」展で多くの注目を集めました。「デザイン、インテリア、建築といった、航空とは違う領域の方にも興味を持っていただきました。航空部品と家具は相性がよいのかもしれません」(金森)。

同年秋にはカリモク家具のギャラリーでも展示が行われ、今春、第1弾の販売が始まります。第1弾の商品はまず、航空機のキャビンウィンドウを生まれ変わったインテリア。カリモク家具とのコラボレーションから生まれたスツールとトレーに加え、デザインロックを手がけるタカレムノスとのコラボレーションで生まれた掛け時計と置き時計を販売します。さらに、貨物室の丈夫な壁紙を活用した名刺入れとPCケースも同時に販売予定です。

「加工難度の高いキャビンウィン

UPCYCLE



1 ボーイング777 キャビンウィンドウ ウォールクロック

航空機をインテリアへ!

カリモク家具に廃棄物削減の取り組みや、整備士の思いをご理解いただき、新たなアップサイクルプロジェクトが始まりました。「ご紹介いただいたデザイナーの皆さまには、まずJALの格納庫



3

ドゥを、協力企業さまのデザイン力と技術力で、精緻なインテリアにアップサイクルできました。特にスツールは座面の透明感のおかげで座る姿に浮遊感があり、航空のイメージをうまく落とし込めたと思っています」(山田)。「クロックの文字盤は操縦席の計器をイメージしています。777にちなんで7の部分の機影にしているのもポイントです」(安部)。「各部品の機能などを丁寧に説明し、デザイナーの皆さまも意図を汲んでくださいました。お客さまに愛され活躍した航空機の部品が、

再びお客さまのもとで活躍できる商品になったと思っています」(荒町)。

ご紹介の商品はマイルがたまるとかえる「JAL Mall」内の「JALショッピング」にて、3月から販売予定です。「今後もアップサイクル製品の開発を継続していきます。また機体に限らず、事業で発生する多様な廃棄物についてもSDGsの取り組みを模索していきます」(加藤)。

JALグループはこれからも、アップサイクルの取り組み等を通じて、持続可能な空の旅と、皆さまの豊かな生活をお届けします。



8 ボーイング777 キャビンウィンドウ スツール